

「普請（ふしん）」とは、「普く請う（あまねくこつ）」とも読み、「力を合わせて作業に従事すること」という意味が含まれています。市民に身近な「まち」に「普請」の輪を広げていきましょう。

ニイガタ

新潟駅周辺整備とBRT整備に関わる市民参加の取り組みを発信する広報紙

まちぶしんぶん 4号

平成 25 年 3 月 8 日発行

発行：新潟駅周辺整備に関わる市民参加企画会議（略称：駅きかく会議）／BRT整備に関わる市民参加企画会議（略称：BRT きかく会議）
編集協力：特定非営利活動法人まちづくり学校／新潟市都市政策部新潟駅周辺整備事務所・新交通推進課



いよいよ大詰め
小学生から大人までが一緒になって
より踏み込んだ議論を実施!

第3回新潟駅万代広場を考えるワークショップ

新潟駅周辺整備 p.2-5

市民目線で万代広場基本計画を点検する第3弾！
第3回新潟駅万代広場を考えるワークショップ・開催レポート
より幅広い市民意見を集める緊急企画！
新潟駅東側連絡通路での出張 PR・開催レポート

新交通・BRT p.6-7

BRT 整備の進め方が大きく変更になりました！
BRT きかく会議流・変更内容解説

今、新潟市では2つの大きな都市整備プロジェクトが進行しています。新潟駅周辺整備事業と新公共交通システム・BRTの導入です。この2つのプロジェクトは、共に市民参加を行いながら進めています。「ニイガタまちぶしんぶん」は、2つのプロジェクトに関連して実施される市民参加の取り組みを発信する広報紙です。

新潟駅周辺整備

第3回新潟駅万代広場を考えるワークショップ開催レポート

より一歩踏み込んだ議論により方向性を明確化

2月17日(日)の午後、万代市民会館・多目的ホールにて第3回新潟駅万代広場を考えるワークショップを開催しました。

今回の検討テーマは2つ。1つは第2回ワークショップで議論された「にぎわい空間等の拡張」と「冬季の風雪対策」について、市民が重要視するポイントを挙げながら、整備の方向性を明確にすること。もう1つは、万代広場の部分整備について、基本的な考え方への理解を深めながら、BRT乗車場やにぎわい空間を計画している観光案内所周辺に盛り込むべき機能等について、市民目線からアイデアを出すことです。

今回もこれまでと同様に、設計者と対話しながら議論を進めていきました。

今回は新潟大学教育学部附属新

潟小学校の6年生8人が参加し、新しい万代広場が完成する頃、大人に成長している子どもたちからの夢のある提案に、会場は一層盛り上がりました。

●にぎわい空間等の拡張場所は、どこがよいか？

「にぎわい空間等の拡張」については、過去2回のワークショップでの検討経緯は左図のようになっていました。拡張することに関しては賛成という意見が大勢を占めていたものの、「どこに配置するか?」「どんな



第3回新潟駅万代広場を考えるワークショップの様子

第1回ワークショップ 2012.10.7(Sun)



これからの社会情勢を考えると、駅前広場に整備する自家用車駐車場のスペースは、もっと小さくてもよいのでは？

第2回ワークショップ 2012.11.17(Sun)



駐車スペースを縮小した場合、空いたスペースには中央広場と異なる機能・役割を持つ「にぎわい空間等」の配置が考えられます。



それはいいね～。

<図 にぎわい空間等の拡張に関する議論の経緯>

利用をイメージしているのか」というところまでは、まだ議論が深まっています。

そこで今回は、設計者から提示された2つの案について、より踏み込んだ検討を行いました。「市民としてどちらの案が望ましいのか？その理由は何か？」を各グループで話し合い、その上で全体での一つの方向性を明確にしていきました。

●冬季対策として整備する内容の優先順位は？

南口広場の検証結果から、冬季対策の拡充が強く求められています。そこで前回のワークショップで、設計者からいくつかの整備パターンが提案され、その内容についての検討を行いました。

しかし、提案された冬季対策すべてが実現できるかという点、事業費の関係など課題があります。そこで、整備内容とかかる費用を

考慮し、「市民が考える優先順位をつけよう」ということで、議論を行いました。

●万代広場の部分整備におけるBRT乗車場やにぎわい空間の整備アイデアを出し合おう！

今回のワークショップでは、万代広場の部分整備に関する基本的な考え方が、新潟市から説明されました。その上で、BRT乗車場やにぎわい空間を計画している観光案内所周辺にあつたらいいなと思う機能・整備内容等について、利用者である市民の目線からのアイデア出しを行いました。

今回のワークショップでもたくさんのご意見を頂きました。これらを踏まえ、今回のワークショップでは、万代広場基本計画の再点検と部分整備計画について市民意見をとりとまとめた結果を発表します。

新潟駅東側連絡通路での出張PR 開催レポート

幅広い方々から多くの意見を頂きました！

2月22日(金)の14～18時に、新潟駅東側連絡通路で出張PRを実施しました。そもそもこの取り組みは、新潟駅周辺整備に関心はあるけどワークショップにはなかなか出られないという市民からも意見を伺おうという趣旨で、企画したものです。

当日、外は雪模様。いくら通路の中とはいえ、かなり気温は低かったため、素通りされてしまうかなあと思っていたら・・・わずか4時間で少なくとも500人以上の方が、足を止めてパネルを眺めたり意見を言って下さるといって大盛況でした！

今回の出張PRで通行人を惹き付けたのは、新潟駅周辺整備事業の完成イメージを、1/1500の縮尺で表した大きな模型でした。学校帰りの小中高生、買物帰りの人、近隣の飲食店スタッフまで、本当に様々な人が興味津々で見に

来て下さいました。新潟駅周辺整備に関するパンフレットを希望者にお配りしましたが、みるみる数が減っていき、何度も補充しなければいけない状態でした。

今回、スタッフが聞き取りという形で意見を頂きましたが、「バス待ち空間の冬季対策をしっかりとしてほしい」「車中心の広場はいらない」「にぎわい空間は広い方がよい」「バス待合室の他に防風壁のところにベンチが欲しい」など、相当な数の意見を頂くことができました。皆さん、ありがとうございました。



東側連絡通路での出張PRの様子

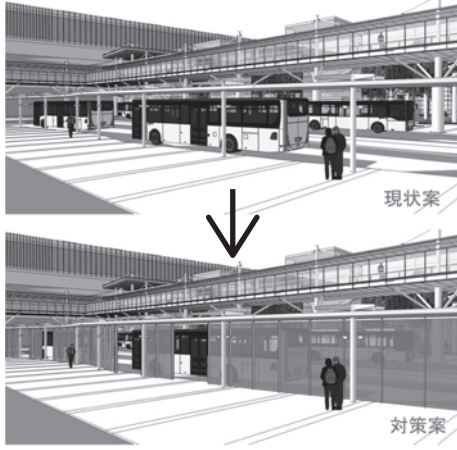
第3回ワークショップで議論した内容を紹介します。(7つのグループに分かれて議論しました)

冬季対策の優先度に関する意見

優先度①

バス乗り場への防風壁の設置

バスシェルターの下、歩車道の境界に防風壁を建てる。

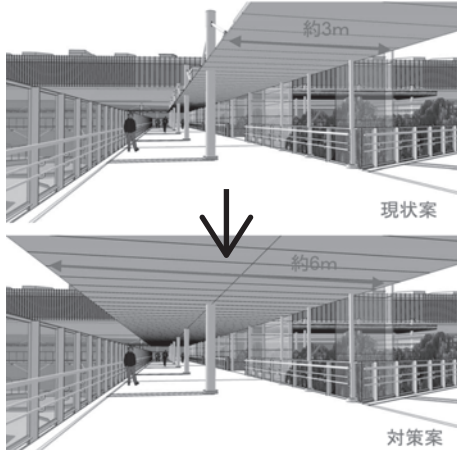


→全てのグループから優先度は高いという意見が出された。バス待ち時の風雪対策は重要。

優先度②

2階通路は全体を屋根で覆う

ペDESTリアンデッキの屋根を約3mから約6mに広くして(半)室内化する。

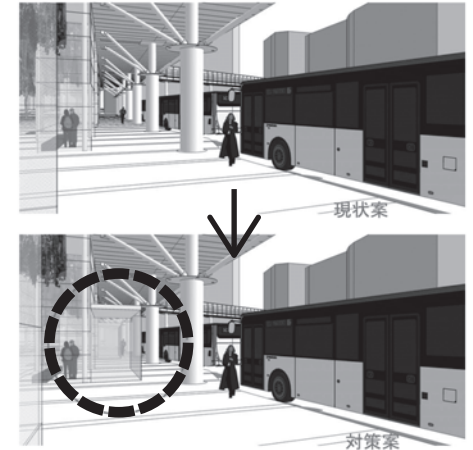


→5グループが優先度は高いという意見。ただし、開放感確保との両立を望む声も強い。

優先度③

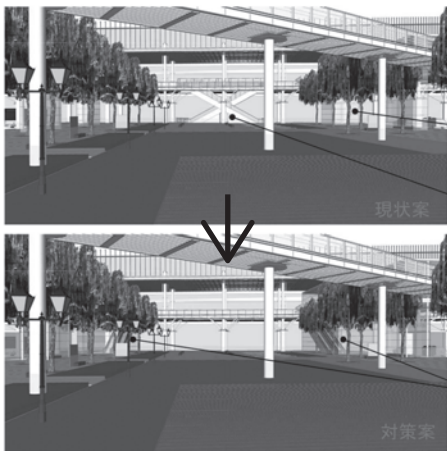
コネクターキューブにバス待合室を設置

コネクターキューブを拡張・室内化してバス待合室にする。



→風雪というよりも、バス待ち時に寒さを凌ぐ場としての意味合いが強い。

優先度④ エスカレーターをコネクターキューブ内に設置



エスカレータの向きを南北方向に変え、コネクターキューブ内(東西2箇所)に設置する。

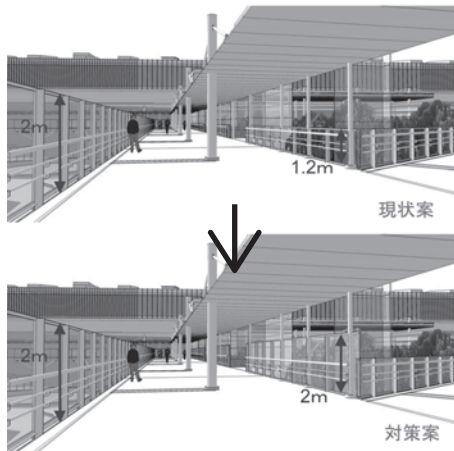
現状のコネクターキューブエレベーターと階段を設置

現状案のエスカレーター

コネクターキューブを拡張しエスカレーターを内部に設置

→南口広場の検証から、アクセス性の向上が求められているため。

優先度⑤ 2階通路の広場側の高欄(ガラス壁)の高さを2mにする



→2階通路部分での風対策として。

案内表示等が充実した場所にしてほしい

- ▷行き先がわかりやすいように床に矢印で表示する。
- ▷街の案内看板の設置。
- ▷大型スクリーンを設置し、天気や観光、地元情報などを発信する。

花を植えられる仕掛け・設備を設けてほしい

- ▷歩道とバス待ち空間を分けるためにプランターを設置する。
- ▷花壇のようなものを設け、季節ごとの花(春はチューリップ)を植える。
- ▷柳は冬に枝おろしをするので、低木の緑をあしらってほしい。

休憩できるスペースを設けてほしい

- ▷ゆっくり休む場所として、ベンチやテーブルなどがあるスペースが必要。
- ▷無線LAN・WiFiスポットなど、PC利用者のための設備があるとよい。

10年後の完成をイメージさせるような内容を盛り込んでほしい

- ▷完成時をイメージできる構造物をレイアウトして、変わる新潟のシンボルとする活用を。
- ▷将来の万代広場につながるもので、位置などがハッキリしているものは着工してよいと考える。
- ▷万代広場が変わったねと思うような整備にしてほしい。

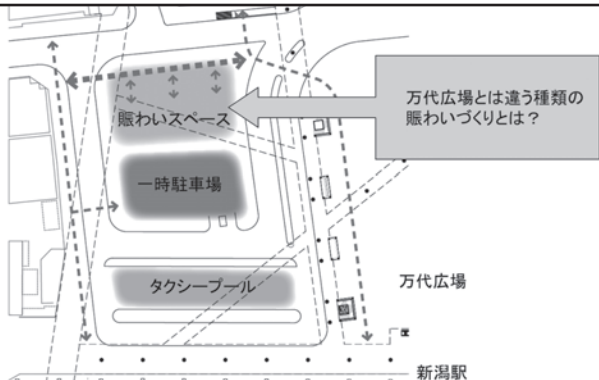
観光案内所のリニューアルをぜひ!

- ▷現在の観光案内所は規模的にも機能的にも意味をなさないの、それを改善した新しい開放的な観光案内所をつくるべき。



にぎわい空間等の拡張場所に関する意見

案① 現バスターミナルの場所に拡張する

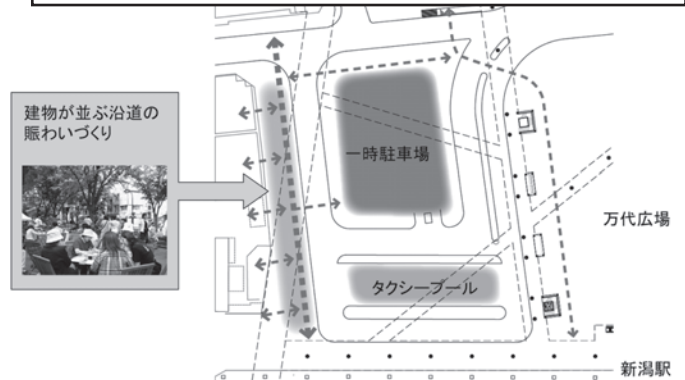


2グループがこちらを支持(7グループ中)

【理由】

- 西側連絡通路の階段を活かしてアクセスしやすい。
- 弁天商店街と一体化したエリアが形成しやすい。
- 既存のバスターミナル建屋を活用できる。
- 広い空間の方が多様に使える。
- 中央広場との関連性がある。

案② 現バスターミナル西側歩道部分(オセオ側)を拡張する



4グループがこちらを支持(7グループ中)

【理由】

- 車と人の分けがはっきりできる。(安心感が生まれる)
- 安全性が高い。
- 人が通る動線を考えるとこちらがよい。
- 建物が風よけにもなる。
- 夏、日陰にもなる。
- 駅南からの移動してくる人も立ち寄れる。
- バスターミナルの建屋の保存に想いは無い。
- 中央広場の活用が優先。(異なる使い方、差別化できる形)

※折衷案にすべき(1グループ)

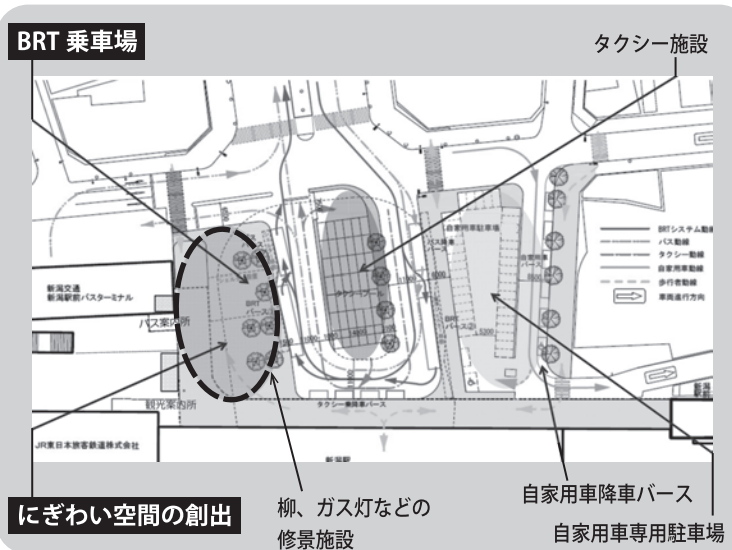
【理由】

- ◇地上レベルの人の流れを考えると、現在のバスターミナルの位置に人だまりのスペースが必要。
- ◇オセオ側のお店の繁栄も必要。

◎「安全性(人と車の動線の交差)の確保」「中央広場との差別化」という観点から、バスターミナル西側歩道部分(オセオ側)の拡張パターンを望む意見が多い。
◎ただし、弁天商店街や人の流れなどの観点から、現在のバスターミナル付近に人だまりとなるスペース確保という意見も少なくない。

【万代広場部分整備】BRT 乗車場やにぎわい空間における整備内容・機能についてのアイデア

◇新潟駅万代広場・部分整備方針(案)



■BRT 乗降所には本整備と同様の風雪対策を施してほしい

- ▷BRT が利用しやすいように屋根・防風壁など風雪対策は、本整備と同じレベルのものを設置してもらいたい。
- ▷駅からバス乗り場まで雨に濡れずに行け、かつバス待ちができるような屋根。
- ▷バリアフリーを徹底してほしい。
- ▷路線バスからBRTへの乗り継ぎが便利になるように。

■待ち合わせ場所になるような魅力的な空間にしてほしい

- ▷大きな時計(色々なところから見られて目を引くような面白いもの)があるとよい。
- ▷待ち合わせの場所になりそうなオブジェのようなもの(少し派手なもの)がほしい。
- ▷行きたくなくなるようなライトアップを。
- ▷清潔感がアップするような色を。

BRT導入の進め方が大きく変更になりました！

2月4日、新潟市からBRT導

入に関する進め方を大きく変更することが発表されました。大きく変更

になったのは、左のとおりです。

このことについては、新聞等でも大きく報じられ、日々、様々な情報が紙面に掲載されています。ここでは、BRTきかく会議流に今回の変更内容を解説します。

Point1

いきなり急展開で思い切った交通体系を変えるのではなく、「ゆるやかに変えていこう!」という考え方に路線変更。

市民へのBRTに関する情報伝

達の改善が、残念ながらうまく図れませんでしたが、道路中央部に専用走行路やホームを設置することへの懸念もあり、新聞での連載を契機に市民等からも様々な意見あり、市

議会でも質疑が活発化しました。

同じ市民でも乗客、自動車運転者、商売をしている場合など、立場が異なれば考えも異なる場合があります。BRT導入にあたっては、多様な立場や角度での市民の理解を得て、意見をいただきながら進め

ていくことが重要です。

そのため、まずは連節バスの導入や交通結節点、情報案内システム等の整備を行うことで、変化を実感してもらうことに重点を置こうというのがねらいの一つです。実際に体験することで様々な問題・課題が見えてくるはずですが、それらを踏まえて第一期導入区間完成形(専用走行路整備、交通結節点整備、情報案内システム、連節バス8台+α)を整えていきたいと新潟市では考えたいようです。

<BRT 整備に関する進め方の変更点>

- ①段階的に取り組むこととし、まずは「走行空間・連節バス・バス路線再編」で第一歩を着実に踏み出すこととした。
- ②導入ルートは、新潟駅～白山駅から青山地区まで延伸する(第1期導入区間)
- ③乗り換えの抵抗感を少しでも無くすために、「交通結節点(新潟駅万代広場・市役所・白山駅前広場・青山)」と「情報案内システム」は平成26年度末までに整備する。

Point2

BRT導入に併せたバス路線の再編を着実に進めるためには助走期間が必要。

BRT導入を機に、バス事業者がバス路線の再編に動き出しました。域内交通の強化を求める声が大きくあつたことを受け、新潟市も域内交通(区バス・住民バス)も含めた再編を進め、着実にバス路線の利便性向上を図ろうというのが意図としてあるようです。

一方で、私たち市民自身もつつと自発的・積極的に公共交通を使っていくこと、その機運を醸成すること、新潟市全域の公共交通がどうなっているのかを知ること、BRTに関する理解を深めるといったことも必要です。

新バスシステム実現に向けた今後の進め方

1) 第1期暫定型【平成26年度末】

- ★BRTの開業（連節バス：4台導入／走行空間：現行どおり、／情報案内システム導入／新潟駅・市役所等の交通結節点整備など）
- ★バス路線再編の開始（BRTに係るバス路線の再編、地域内交通の改善プラン策定）

2) 第1期完成型【平成31年度頃*を目標】に向けて

※ 暫定開業後の交通流動の変化や関係機関との調整状況に応じて、完成時期は前後する場合がある。

- ★道路中央部の専用走行路によるBRT本格運行
- ★第2期に向けた取り組みの段階的な推進
- ★区の実情に合った地域内交通の実現への取り組み実施

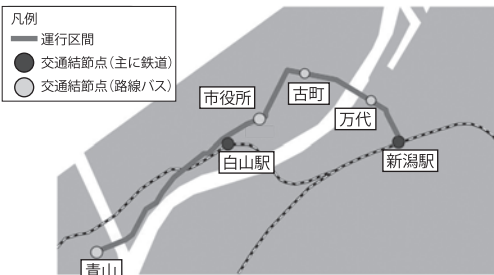
3) 第2期【平成34年度を目標】に向けて

- ★新潟駅高架下交通広場の完成による基幹公共交通軸の南北一体化
- ★LRTへの移行について、社会環境を十分に考慮し判断する。

（新潟市BRT第1期導入計画より）

BRT 運行区間について

基本方針に示した第1期導入区間である“新潟駅～白山駅”に加え、新潟交通(株)から提案のあった、青山までの連節バス運行区間の延伸を行う方向で検討を進める。



（新潟市BRT第1期導入計画より）

BRT 走行空間について

○現在



自家用車に対する交通誘導の変更



・現況の“明石通りへの誘導”を、“柳都大橋への誘導”への変更を図る
例) 案内標識, 信号現示 等

○平成26年度BRT運行開始時点

- ◆専用走行路、島式ホームの設置は行わず、現在のバスレーンを走行。



段階的の推進に向けた現地検証施策の実施（平成27年度～）



・以下のような検証を行いながら進める。
例) 一般車の通行車線を制限、既存のバスレーン機能を強化、東大通りに島式ホームを先行設置 等

○平成31年度頃を目途に

道路中央部への専用走行路設置を目指す

- ◆関係機関と協議の上、地元の理解を得て、概ね5年間の目途に段階的な整備に取り組んでいく。



（新潟市BRT第1期導入計画より）

ずいぶんと大幅な変更になったことに驚いている方も多いと思いますが、より良い第一期導入区間完成形を目指して進むために、大きな一歩が踏み出されました。段階的の整備が決まった以上、BRT導入後に「拙速に進めなくて良かったよね」と言えるようにしていきたいものです。

そのためにも、BRTきかく会議では、市民同士で気軽に話し合いができる場をもっと設けるなど、これまでとは少し違った活動も模索したいと考えています。

連節バスの導入にあたって様々な懸念が出されており、当然、市としても対策を十分に検討しています。これらが確実に機能するかどうかを見極めるためにも、いきなり本

格導入ではなく、車両や停留所（BRT駅）等の検証など、不安を払拭しながら進める段階的な導入に方針転換をしたのです。

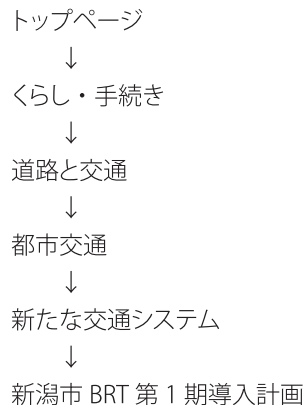
Point3

連節バスの安全性・冬季対策などを確実なものにしていくためにも、段階的に導入していくことが望ましいと判断。

「新潟市BRT第1期導入計画」やBRTの今後の進め方、「新バスシステム」の詳細についてお知りになりたい方は、新潟市ホームページをご覧ください。

http://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/doro/kotsu/newsystem/brt_dounyukeikaku.files/brt_dounyukeikaku.pdf

※新潟市ホームページのトップページからは、以下のようにお進みいただけると情報にたどり着けます。





3月は2つの催しがあります！

3月は、2つの催しを開催します。BRT整備に関するPR&意見募集イベントと、第4回新潟駅万代広場を考えるワークショップです。年度末のお忙しい時期ではありますが、ぜひともご参加下さい。

BRTきかく会議からのお知らせ

新潟市BRTについてのPRイベント

「こちら、新潟みらい交通発信局です！」

を開催します!!

3/17 (日) 10:00~16:00

会場：イオンモール新潟南店 1F マリンコート

- 【内容】
- ①新潟市BRTについてのパネル展
 - ②親子でアンサー！BRT早わかりクイズ大会！(11:00～/14:00～)
→参加賞あり*。全問正解者には二連節バスミニカープレゼント！
 - ③パネルを読んで！BRTクイズラリー！
→クイズ解答者全員に参加賞あり*。
 - ④BRTに対する意見募集
 - ⑤新潟駅周辺整備についてのパネル展示

*参加賞には数に限りがありますので予めご了承下さい。

【主催】 BRT整備に関わる市民参加企画会議(略称：BRTきかく会議)

【協力】 新潟駅周辺整備に関わる市民参加企画会議(略称：駅きかく会議) / NPO法人まちづくり学校/新潟市

<問い合わせ先>

BRTきかく会議事務局(NPO法人まちづくり学校)

TEL. 025 (201) 9320 / FAX. 025 (201) 9321 / e-mail info@machikou.com

3/20 (水・祝) 13:00~16:00

会場：新潟市中央図書館 (ほんぽーと)

定員：50名

申込み 住所・氏名・電話番号を添えて、以下へメールもしくはFAX・電話で3月18日(月)までにお申し込み下さい。

【駅きかく会議事務局 (NPO法人まちづくり学校)】

TEL. 025 (201) 9320 / FAX. 025 (201) 9321

e-mail info@machikou.com

参加者募集!

平成24年度 第4回新潟駅万代広場を考えるワークショップ

これまでのワークショップで、設計者と意見交換を重ねてきた万代広場基本計画の再点検と部分整備計画について市民意見をとりまとめた結果を発表します!

参加者募集

日時 3月20日 (水・祝) 午後1時~4時

会場 新潟市中央図書館 (ほんぽーと)

定員 50名

市民参加の取り組み、過去のワークショップの開催記録はblog「新潟駅周辺整備・市民参加の軌跡」をご覧ください。blogでもご意見を募集しています。URL: http://blog.canpan.info/eki-kikaku/QRコード

【申込方法】 3月18日(月)までに、住所・氏名・電話番号を記入し、メール・FAXで下記までお申込み下さい。(必着)

【申込・問合せ先】 新潟駅周辺整備に関わる市民参加企画会議(略称: 駅きかく会議) 事務局: NPO法人まちづくり学校 〒950-2002 新潟市西区青山 5-8-22 / tel. 025-201-9320 / fax. 025-201-9321 / e-mail. info@machikou.com

主催: 新潟駅周辺整備に関わる市民参加企画会議(略称: 駅きかく会議) 協力: 新潟市新潟駅周辺整備事務所 / NPO法人まちづくり学校

第4回新潟駅万代広場を考えるワークショップ

駅きかく会議からのお知らせ

これまでのワークショップで意見交換を重ねた万代広場基本計画の再点検と部分整備計画について市民意見をとりまとめた結果を発表します。

次号のまちぶしんぶんは、3月下旬発行予定です。

「ニイガタまちぶしんぶん」のバックナンバーは、以下の駅きかく会議 / BRTきかく会議のブログからPDFファイルをダウンロードできます。

駅きかく会議 blog

<http://blog.canpan.info/eki-kikaku/>

BRTきかく会議 blog

<http://blog.canpan.info/brt-kikaku/>